

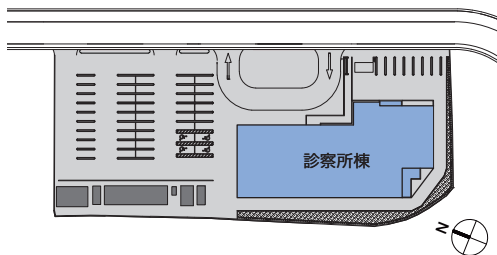
設計担当者紹介



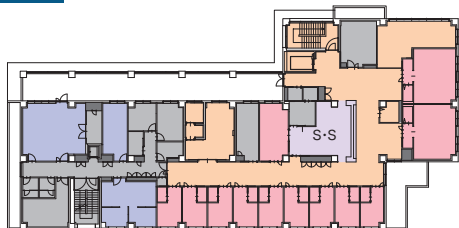
(株)久慈設計 取締役専務執行役員 建築設計本部 統括本部長 一級建築士 高橋 重人

令和2年に建築設計に着手し、令和5年10月、町立大鰐病院から町立大鰐診療所へ名称を改め、開所をいたしました。令和7年9月には町道付替え工事も完了し、大鰐町立診療所整備工事の一連の全事業が完了をいたしました。診療所関係者様・大鰐町様におかれましては、前段の整備基本構成及び基本計画の策定や新型コロナウイルス・大雪対応、建設費の高騰等、期間中多くの難題に取り組まれたことと思われます。町内唯一の有床医療機関として地域医療機関・介護保険施設等と連携し、地域の皆様の安心・安全の拠り所として、永く活用されることを心よりお祈り申し上げます。

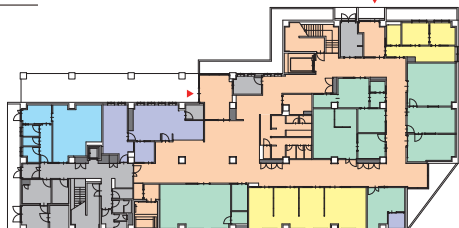
配置図



平面図



2F



1F

- | | |
|------|------|
| 共用部 | 床室 |
| 診療部門 | 事務部門 |
| 検査部門 | 調理部門 |
| | 管理部門 |

地図



■診療受付時間
午前受付 8:15~11:30 午後受付 13:30~16:30
※心臓循環器外来・小児科は、下記をご確認ください。
<http://www.town.owani.lg.jp/shinryojo/>
■土日祝日は休診

Always with a SMILE!

2025
12月号
Vol.249

—— 地域医療の発展のために ——

特集

町立大鰐診療所 整備事業設計監理業務



KUJI ARCHITECTS STUDIO
株式会社 久慈設計
(一級建築士事務所)

KUJI HIGASHINIHON ARCHITECTS STUDIO
株式会社 久慈設計 東日本
(一級建築士事務所)

บริษัท คูจิ เซคเค ไทย จำกัด
KUJI SEKKEI THAI CO., LTD.
Bangkok

Always
with a SMILE!

発行責任者 株式会社 久慈設計
住 所 / 岩手県盛岡市紺屋町3-11
TEL / 019-624-2020

公式HP
トップページ



公式HP
リクルートページ



「ひとつ、ひとつ、実現する ふくしま」

久慈設計は「Fukushima with a SMILE!」を通じて福島県の魅力を発信していきます。



町立大鰐診療所整備事業 設計監理業務

- 施 工 地／青森県南津軽郡大鰐町大字蔵館
字川原田40-4
- 竣工年月／令和6年3月
- 敷地面積／4227.27㎡
- 延床面積／1986.24㎡
- 構 造／鉄筋コンクリート造

地域医療の新拠点

青森県津軽地方の南端に位置する大鰐町は、大円寺大日如来像などの歴史的遺産や仏教伝承を有し、円智上人が開いたと伝わる大鰐温泉をはじめとした豊富な温泉と、自然が織りなす四季折々の風情が魅力の観光の町です。長らく地域医療の要として町民の健康を支えてきた町立大鰐病院も、1966年(昭和41年)の建設から年月を経て老朽化が進み、地域の医療需要に対応するため、新たな医療体制の整備が求められていました。

令和2年(2020年)に新たな医療施設の建設事業として大鰐町主催の設計プロポーザルが開催をされ、久慈設計グループが選定、本事業に参画をさせていただきました。地域包括ケアの推進拠点としての役割を担い、医療・介護・福祉が一体となった持続可能な地域医療「地域の安全と健康を守る診療所」として、地域に寄り添う新診療所が誕生をいたしました。



外観(ロータリー)



受付エリア 1F



廊下 1F



スタッフステーション 2F



病棟廊下 2F

地域に開かれた施設づくり

本施設は、「大鰐町立診療所 整備基本構想及び基本計画」に基づき、「町民の生命と健康を守り、良質な生活を支える地域の笑顔づくり」を設計コンセプトとしております。地域の医療需要に応えるため、治療のみならず予防・在宅医療にも対応する「地域に開かれた医療拠点」として、**健康長寿**に寄与する施設計画としました。

外観は、地域の住宅街と調和する落ち着いたスケールとし、内観には地域産材を使用するなど、安心とやすらぎのある景観を形成しています。

診療・検査・放射線などを1階に集約し、外来患者がワンフロアで完結できる利便性を確保しております。また、外来・病棟・職員の動線を明確にすることで、院内感染防止やプライバシー保護にも配慮した構成としています。2階の病棟は**19床**(1床室を主体)で構成し、将来的な療養型への転用にも柔軟に対応できる計画としました。病棟南側には明るい食堂・談話室を設け、療養中の心の安らぎにも配慮しています。**機能訓練室には温泉を利用した浴室を隣接させ、地域資源である「大鰐温泉」を活かしたりハビリ環境を整備。給湯や暖房にも温泉熱を活用し、CO₂排出削減に寄与するサステナブルなエネルギー計画を採用しました。**

また、本敷地の近隣河川の氾濫リスクを踏まえ、病棟エリアを2階、電気・エネルギー関連設備を屋上に配置。地域特有の厳しい冬季環境にも対応し、屋根付きポーチや段差のない舗装計画、雪害対策を徹底するなど、安全で快適な施設づくりに取り組みました。



病室 2F



食堂・談話室 2F



バルコニー